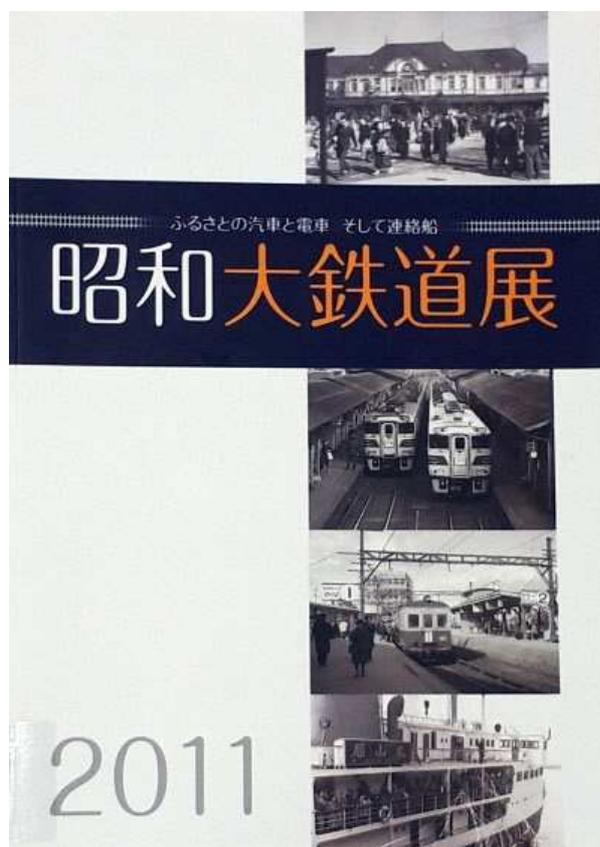


昭和大鉄道展



香川県では、明治 22 年に讃岐鉄道が開業し、丸亀－琴平間に蒸気機関車を走らせ、同 30 年には、高松まで路線を延長しました。また、明治 44 年には、東讃電気軌道株式会社が今橋－志度間に初めて電車を運行させました。

その後、大正から昭和初期にかけて、観光地を結ぶ電車が次々と開通し、終戦後は、車両の改良やダイヤ改正などを行い、より速く便利な輸送の実現に取り組み、戦後の復興や経済成長を支えてきました。

香川県立ミュージアムの「昭和大鉄道展」では、昭和 30 年代の駅前の様子を実物大で再現し、鉄道の最盛期・昭和の時代を体験できたり、香川に鉄道が登場し、発展していく様子を歴史資料や写真などでたどるなどしました。

(平成 23 年 10 月 香川県立ミュージアム)

(7101114275)